

第65期

年次報告書

2010年4月1日～2011年3月31日

SEIKAGAKU CORPORATION

(証券コード：4548)

糖質科学で未来を創る

|トピックス|

◎P5

単回投与の
関節機能改善剤「Gel-One®」
米国で承認取得



糖質科学で未来を創る

研究開発・製造に
経営資源を集中

糖質科学を
専門分野とし
世界の医療に貢献

高品質な製品を
生む技術力

生化学工業は、複合糖質の重要性がまだ解明されていなかった半世紀以上前から糖質科学に着目し、医薬品開発への応用研究を進めてきました。この独創的な創薬への挑戦を通じて世界の人々の健康で心豊かな生活の向上に貢献するとともに、「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指していきます。

糖質科学

糖鎖や複合糖質を研究する科学分野です。近年、重要性が認識され、多くの病気と糖鎖との関係にも注目が集まっています。糖質科学の研究が進むことで、新しい治療法や診断法の開発につながることを期待されています。

グローバル・カテゴリー・ファーマ

研究開発を得意分野に絞り込んで国際競争力の強化を図る新薬開発企業を意味します。厚生労働省の「新医薬品産業ビジョン」において、今後生き残っていく製薬企業の姿の1つとして提言されています。

主力製品アルツの販売が拡大し、新薬開発が着実に進捗 新たな成長に向けた基盤強化を進めています

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、東日本大震災により被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災では、当社も高萩工場や子会社が被災し、関係者の皆さまにはご心配をおかけしましたが、幸い人的被害はなく、出荷計画や供給体制についても支障はありませんでした。

2011年3月期は、薬価引き下げや円高の影響から減収減益となりましたが、関節機能改善剤アルツの国内での販売本数は、高齢者人口の増加に加え、引き続き疾患啓発活動を推進したことから、順調に増加しました。また、米国での戦略製品である単回投与の関節機能改善剤「Gel-One (ジェル・ワン)」の承認取得、腰椎椎間板ヘルニア治療剤の国内治験終了と新薬開発が進捗しました。さらに、新たな設備投資計画に着手するなど、2012年3月期を最終年度とする中期経営計画（10年ビジョン実現に向けた「基礎体力の養成と体制の構築」）の重点課題への取り組みが着実に進展しています。

当社は持続的な成長を通じて株主価値の向上に努めるとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題として位置づけています。今後も、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまから高い信頼を得続けるために、「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

水谷 建

利益配分に関する基本方針

配当性向を重視した業績連動型の配当政策のもと、1株当たり年間20円をベースに配当性向30%を維持しつつ、さらなる向上を目指していきます。

	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
1株当たり年間配当金	25.00円	25.00円	25.00円
配当性向	44.9%	39.7%	57.9%

決算の概況

当期：2010年4月1日～2011年3月31日
前期：2009年4月1日～2010年3月31日

(百万円)

科目	当期	前期	増減率
売上高	27,117	27,617	-1.8%
営業利益	3,533	5,110	-30.9%
経常利益	4,159	5,114	-18.7%
当期純利益	2,451	3,575	-31.4%
研究開発費	6,723	5,517	+21.9%

売上高 271億1千7百万円(前期比1.8%減)

国内医薬品は、薬価引き下げの影響をアルツの販売数量の伸びでカバーし、増加しました。一方、海外医薬品は、一部民間保険会社の償還厳格化による米国向け販売数量の減少や円高の影響を受け、減少しました。また、当期よりマイルストーン型ロイヤリティー収入の計上を売上高から営業外収益に区分変更する会計方針の変更を行ったことも減収要因に含まれています。この結果、売上高は、前期比1.8%減の271億1千7百万円となりました。(セグメント別の売上概況につきましては、9～10ページの「事業レポート」をご覧ください。)

営業利益 35億3千3百万円(前期比30.9%減)

国内医薬品の販売数量増などで薬価引き下げの影響をカバーしたものの、円高の影響や「SI-6603」の国内臨床試験終了に伴う治験費の一括費用化などに加え、前述の会計方針の変更に伴う売上高減少見合いの減益要因もあり、営業利益は、前期比30.9%減の35億3千3百万円となりました。

なお、当期における研究開発費は、前期比21.9%増の67億2千3百万円となり、対売上高比率は、前期から4.8ポイント上昇し、24.8%となりました。

当期純利益 24億5千1百万円(前期比31.4%減)

前述のマイルストーン型ロイヤリティー収入を営業外収益に計上したことなどから、経常利益は、前期比18.7%減の41億5千9百万円となりましたが、東日本大震災による設備などの復旧費用や土地の減損損失などを特別損失として計上したことから、当期純利益は、前期比31.4%減の24億5千1百万円となりました。

財政状況

当期：2011年3月31日現在
前期：2010年3月31日現在

(百万円)

科目	当期末	前期末	増減額
流動資産	26,714	27,452	-737
固定資産	35,969	35,281	+688
資産合計	62,684	62,734	-49
流動負債	4,773	6,121	-1,347
固定負債	1,803	1,186	+616
負債合計	6,577	7,307	-730
純資産合計	56,106	55,426	+680
負債純資産合計	62,684	62,734	-49

● **資産の部**では、投資有価証券や有価証券が増加しましたが、現金及び預金や減価償却の進捗、土地の減損に伴い有形固定資産が減少したことから、前期末とほぼ同水準の626億8千4百万円となりました。

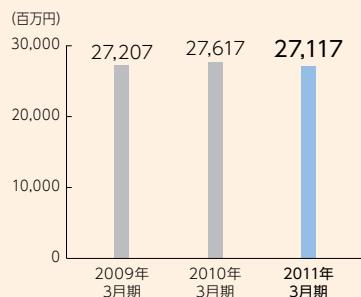
● **負債の部**では、震災に伴う災害損失引当金を計上しましたが、税金等調整前当期純利益の減少により未払法人税などが減少したことから、前期末と比べ7億3千万円減の65億7千7百万円となりました。

● **純資産の部**では、円高により為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したことから、前期末に比べ6億8千万円増の561億6百万円となりました。

財務諸表など業績に関する詳細は、当社ホームページの株主・投資家向け情報サイトをご覧ください。

<http://www.seikagaku.co.jp/ir/index.html> (決算説明会の動画も視聴できます。)

売上高



営業利益



当期純利益/1株当たり当期純利益



海外売上高



総資産/純資産/自己資本比率



研究開発費



来期の見通し

(百万円)

科目	2012年3月期見通し	増減率
売上高	28,000	+3.3%
営業利益	4,800	+35.9%
経常利益	5,100	+22.6%
当期純利益	3,300	+34.6%
研究開発費	5,900	-12.2%

注1. 為替レートは、対米ドル83円を前提としています。
 注2. 本予想には、現時点で算定可能な特別損失以外の震災の影響は織り込んでいません。

医薬品は、国内でのアルツが順調に推移することに加え、海外でも中国やイタリア向けの販売が増加することなどから増収を見込みます。一方、機能化学製品は、海外売上が増加するものの、本年9月に研究用試薬の販売を終了することから減収を見込み、売上高は、前期比3.3%増の280億円を予想します。

営業利益は、医薬品の販売数量が増加することに加え、前期にSI-6603国内治験費を一括費用化した反動により研究開発費が減少することから、前期比35.9%増の48億円を予想します。なお、研究開発費は、前期比12.2%減の59億円を予想し、対売上高比率は、前期から3.7ポイント減少し、21.1%となります。

経常利益は、受取ロイヤリティー収入の減少により前期比22.6%増の51億円となりますが、当期純利益は、震災に伴う特別損失などが減少することから前期比34.6%増の33億円を予想します。

1 単回投与の関節機能改善剤「Gel-One®」米国で承認取得

単回投与の関節機能改善剤「Gel-One(ジェル・ワン)」(開発コード:「Gel-200」)について、2011年3月22日(米国現地時間)付けで、米国食品医薬品局(FDA)より医療機器としての承認を取得しました。現在、2011年中の発売を目指し、準備を進めています。

当社はすでに複数回投与製品の「スパルツ」を米国で販売していますが、「ジェル・ワン」を発売することにより変形性ひざ関節症患者の方々に単回投与と治療の選択肢を提供することが可能となります。今後は両製品を拡販していくことで、米国における当社製品のプレゼンスの強化を図っていきます。

● 製品概要

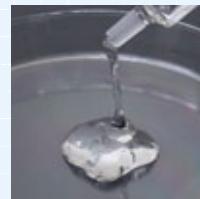
物質名 架橋ヒアルロン酸
販売名 Gel-One®(ジェル・ワン)
適応症 変形性ひざ関節症の痛みの治療
用法 ひざ関節への注射(単回投与)

● 販売提携先

Zimmer, Inc.(ジンマー社)
(本社:米国インディアナ州ワルソー)

ジェル・ワンの特徴

- 独自の架橋技術を用いて創製した架橋ヒアルロン酸を主成分とする単回投与の関節注射剤です。
- 架橋ヒアルロン酸がひざ関節腔内の潤滑性を向上させます。
- 1回の投与で疼痛抑制効果を示します。



2 研究用試薬事業を廃止し、医薬品原体、品質管理用試薬へ経営資源を集中

当社子会社である生化学バイオビジネスで行う研究用試薬事業を2012年3月で廃止することとしました。これは、同事業を取り巻く環境が、景気低迷を受けた研究施設の統廃合や、競合他社の参入などにより厳しさを増す中で、今後の収益拡大が望めないと

判断したことによるものです。

今後は、医薬品原体、品質管理用試薬(エンドトキシンおよびβグルカン測定用試薬)に関わる領域に経営資源を集中させ、さらなる収益性の向上を図っていきます。



生産能力アップに向けた製造設備・製剤設備の増強

中長期的な視点における生産能力の向上のため、久里浜工場と高萩工場において、3件の設備増強計画に着手しました。

医薬品原体などを製造する久里浜工場では、コンドロイチン硫酸原体の製造設備を新設し、既存設備の老朽化への対応や、分散している製造エリアの集約による生産効率の向上を図ります。また、関節機能改善剤アルツディスポの主成分であるヒアルロン酸の生産量増加を目的として、ヒアルロン酸原体の製造設備を新たに建設します。

さらに高萩工場では、アルツディスポの製剤化を行う第5製剤棟を新設します。主力製品であるアルツディスポの国内市場は、高齢者人口の増加や、疾患啓発活動の継続実施の効果もあり、順調に拡大しています。第5製剤棟を新設することで生産能力を増強し、今後予想される需要拡大に対応していきます。



完成予想図
久里浜工場(福作)：
コンドロイチン硫酸原体製造設備(右)
ヒアルロン酸原体製造設備(左)



完成予想図
高萩工場：第5製剤棟

● 設備概要

	久里浜工場(神奈川県横須賀市)		高萩工場(茨城県高萩市)
	コンドロイチン硫酸原体製造設備	ヒアルロン酸原体製造設備	アルツディスポ製剤設備(第5製剤棟)
目的	既存設備の老朽化への対応、 製造エリアの集約	ヒアルロン酸の 生産量増加に対応	アルツディスポの生産量増加に対応
設備投資額	約11億円	約35億円	約98億円
着工予定	2011年5月	2012年1月	2012年3月
竣工予定	2012年1月	2013年3月	2013年7月
操業開始予定	2012年7月	2014年4月	2015年1月

東日本大震災に関するお知らせ

東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当社グループにおける震災の影響についてご報告します。

● 生産の状況について

(2011年5月11日時点)

工場名	対応状況
高萩工場 (医薬品製剤工場・茨城県高萩市)	製剤機器および製品倉庫の一部に損傷がありましたが、製品在庫の出荷を3月23日に再開したことから、当社の出荷計画および医薬品の安定供給に支障はありませんでした。また、インフラの回復に伴い4月11日より第4製剤棟においてアルツディスポの生産を再開しました。その他製剤棟についても順次生産を再開し、4月29日には平常の生産体制に復旧しました。
久里浜工場 (医薬品原体工場・神奈川県横須賀市)	生産設備への影響はなく、3月14日より平常通り操業しています。
三陸加工株式会社 (子会社、コンドロイチン硫酸原料の加工・宮城県気仙沼市)	津波により大きな被害を受け、事業再開の目処は立っていません。同社以外の供給先からの原料調達量を増やすことで、コンドロイチン硫酸の安定供給に努めています。

● 業績への影響について

〈2011年3月期〉

売上高への影響はほとんどありませんでした。一方で、高萩工場の設備等の復旧費用や、当社が所有する三陸加工の土地の減損損失などが発生し、特別損失として9億3千2百万円を計上しました。

〈2012年3月期予想〉

現時点で算定可能な特別損失以外の震災の影響は織り込んでいません。

● 支援の状況について

被災された皆さまに対する救援活動を支援し、復興に役立てていただくために、中央共同募金会を通じ5千4百万円を義援金として寄付しました。このうち、4百万円については義援金マッチングギフト制度*によるものです。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

*義援金マッチングギフト制度：

役員および従業員の寄付金と同額を会社も寄付する制度

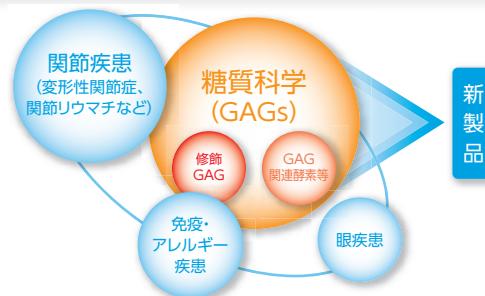
開発パイプラインリスト

開発コード・物質名等	適応症	開発地域	前臨床	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請	承認
Gel-200 (販売名: Gel-One) 架橋ヒアルロン酸	変形性ひざ関節症	米国						承認取得 (2011年3月)
SI-602 ヒアルロン酸	変形性肩関節症 (スパルツ適応症追加)	米国					申請 取り下げ (2011年3月)	
SI-6603 コンドリアーゼ	腰椎椎間板ヘルニア	日本				●	第Ⅱ/Ⅲ終了 (2010年12月)	
		米国			●			
SI-615 アデノシンA3レセプターアゴニスト	関節リウマチ	日本		●				
SI-636 抗VAP-1モノクローナル抗体	関節リウマチ・乾癬・炎症性腸疾患	日本	●					
	眼科領域		●					
	関節疾患領域		●					

各開発段階の説明については、当社ホームページの研究開発サイトにある「研究開発の状況」に掲載していますのでご覧ください。

研究開発基本方針

当社は、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な研究開発活動を推進しています。対象とする物質は、当社が長年携わってきた複合糖質の一種であるグリコサミノグリカン (GAG) です。また、アルツの開発、製造、販売を通じて長年培ってきた技術や経験が活かせる関節疾患をはじめ、免疫・アレルギー疾患、眼疾患を重点疾患としています。さらに、開発パイプラインの拡充のために、他社からのテーマ導入にも積極的に取り組んでいます。



米国における変形性肩関節症の適応症追加申請を取り下げ

米国にて関節機能改善剤スパルツの変形性肩関節症の適応症追加 (開発コード: SI-602) を申請していましたが、米国食品医薬品局 (FDA) より追加の臨床試験を要求されたことから、2011年3月に本申請を取り下げました。

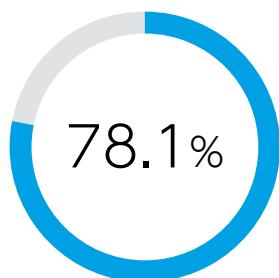
スパルツは変形性ひざ関節症を適応症としてすでに米国で販売しています。現在、米国では高齢者人口の増加を背景に変形性ひざ関節症市場が拡大傾向にあります。当社は引き続きスパルツの販売強化に取り組んでいきます。

生化学工業グループは、ヒアルロン酸製剤を中心とした医薬品事業を柱に、世界をフィールドとした事業展開を行っています。

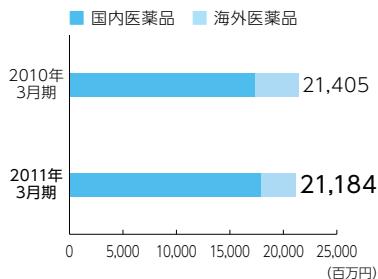
医薬品事業

主にヒアルロン酸を主成分とした医療用医薬品・医療機器の製造・販売を展開する、当社グループのコア事業です。

● 売上高構成比



● 売上高



● 当期の業績

国内医薬品 売上高179億7千6百万円 (前期比3.8%増)

関節機能改善剤の国内市場は、高齢者人口の増加に加え、販売提携先の科研製薬株式会社とともに変形性ひざ関節症の疾患啓発活動を推進したこともあり、引き続き拡大しました。**アルツ**については、先発品としてのブランド力を活用した拡販に注力したことや、顧客ニーズに対応したプラスチック容器の投入も寄与し、市場シェアが拡大するとともに、医療機関納入本数の増加で薬価引き下げの影響をカバーし、増収となりました。

眼科手術補助剤**オペガン**は、販売提携先の参天製薬株式会社と連携して、引き続き販売促進活動に努めたことで医療機関納入本数は増加しましたが、薬価引き下げの影響を受け、微減となりました。

内視鏡用粘膜下注入材**ムコアップ**は、販売提携先のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とともに、内視鏡手術の手技の浸透を通じた市場拡大に注力した結果、売上を着実に伸ばしました。

海外医薬品 売上高32億7百万円 (前期比21.4%減)

米国向け**スパルツ**は、価格維持に努めたことから現地販売価格は下げ止まりましたが、一部民間保険会社の償還厳格化の影響などにより現地販売本数は減少しました。当社からの輸出売上は、前期末に販売提携先が在庫を積み増した反動や、円高の影響もあり減収となりました。一方、中国向け**アルツ**は、主要都市を中心とした医療機関で高い品質が評価されており、売上を伸ばしました。

関節機能改善剤

「アルツ®・アルツディスポ®・スパルツ®」

アルツは、関節液にヒアルロン酸が含まれていることに着目して開発した、世界初のヒアルロン酸を主成分とする関節機能改善剤です。関節内に投与することにより、中高年層に多い「変形性ひざ関節症」「肩関節周囲炎」「関節リウマチ」におけるひざ関節痛の症状改善に寄与します。



アルツディスポ®
関節注25mg

SUPARTZ®
(スパルツ®)

眼科手術補助剤

「オペガン®・ オペガンハイ®」

ヒアルロン酸の高い粘弾性により眼内空間の保持や角膜内皮細胞を保護し、白内障手術をサポートする眼科手術補助剤です。



内視鏡用粘膜下注入材

「ムコアップ®」

優れた粘弾性を持つヒアルロン酸の特性を活かした、内視鏡手術の補助材です。



歯科用医療機器

「エムドゲイン®ゲル」

歯周炎の治療を目的とした歯周外科手術の際に使用する医療機器です。



機能化学品事業

エンドトキシン測定用試薬、研究・検査用試薬、体外診断用医薬品、医薬品原体などの製造・販売を国内・海外で展開しています。

● 売上高構成比



21.9%

● 当期の業績

ヒアルロン酸原体やエンドトキシン測定用試薬などが堅調に推移したものの、円高の影響や国内試薬の販売減により、減収となりました。

試薬・診断薬

- ・エンドトキシン測定用試薬
- ・研究・検査用試薬
- ・体外診断用医薬品

医薬品原体

オーラルケア製品

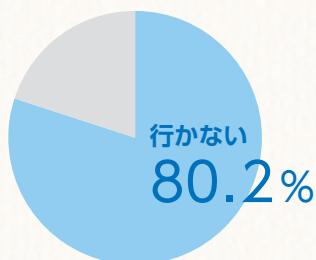


Pyrochrome® (パイロクロム)

～「ひざが痛い！」あなたならどうする？～

“ひざの痛みへの対処法・満足度実態調査”を実施

Q ひざが痛いとき、
病院に行きますか？



● 病院に行かないと答えた方

Q 受診しない理由は
何ですか？



● 病院に行くと言った方

Q 治療に対して満足して
いますか？



● 病院に行くと言った方

Q 受診してひざの
痛みが改善しましたか？



当社は、ひざの痛み悩む方々の治療・受診に対する意識調査を目的とし、「ひざの痛みへの対処法・満足度実態調査」を実施しました。

本調査によると、ひざに痛みがあるにもかかわらず「病院に行かない」と答えた方は80.2%にものぼり、その多くが「我慢をする」、「市販の湿布を貼る」など、自分なりの対処法で済ませていることがわかりました。また、病院で受診しない理由としては、「病院に行くほどでもない」が半数以上となりましたが、そのうちの多くの方が日常生活の基本的な動作に不自由を感じていることが明らかになりました。

一方で、病院で受診し治療を受けた方のうち、その治療に「満足している」と答えた方が半数以上を占め、また、70.7%が「痛みが改善した」と実感してい

ることがわかりました。

このことから、ひざに痛みを抱えている多くの方が日常生活に支障を来しているものの、症状を軽く考えており、受診・治療による痛みの改善の機会を逃していると推察されます。より充実した生活を送るためにも、ひざに痛みを感じたら専門医の診断と治療を受けることが重要です。

詳しい調査結果は
Webサイト
「ひざイキキ」で
公開しているのじゃ！

調査対象：ひざに痛みを持つ40歳以上の
男女1,034名
調査方法：インターネットによる
アンケート調査
実施期間：2011年1月27日～28日



ぼく、ヒアルンくん。
ひざの痛みを解決する
ために、今日も
がんばっています。



ヒアルンくん

～学べる! 健康クイズ あなたのひざは大丈夫?～

ひざの痛みの原因や予防・治療方法を紹介するクイズ番組を放映

2011年3月21日にテレビ東京系にて、当社とアルツの販売提携先である科研製薬株式会社が協賛したテレビ番組「学べる! 健康クイズ あなたのひざは大丈夫?」が放映されました。同番組では、フリーアナウンサーの露木茂さんを司会に、中高年のひざの痛みの原因として最も多い変形性ひざ関節症について、その原因や予防・治療方法をクイズ形式でわかりやすくお伝えしました。

当社は、今後も、変形性ひざ関節症の早期発見・早期治療の重要性を呼びかける活動を継続していきます。



ぼくは全問
正解でした!



Information

◎ IRメール配信登録のご案内

株主の皆さまに当社の情報を迅速にお届けするため、IRメール配信を行っています。当社ホームページの株主・投資家向け情報サイト「メール配信」からEメールアドレスをご登録いただきますと、ニュースリリースや決算発表などのアップ情報をメールでお知らせします。どうぞご利用ください。

IRメールの配信を希望される方は、こちらをクリックしてください。



◎ 株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝の意を表すとともに、当社株式への投資魅力をさらに高め、長い期間保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。株主さまの保有期間*の区分に応じ、QUOカードを贈呈しています。

*保有期間は、毎年3月31日を基準日とし、同一株主番号で継続して当社株主名簿に記録されている期間とします。

- 1年未満の保有..... 1,000円相当
- 1年以上3年未満の保有..... 2,000円相当
- 3年以上の保有..... 3,000円相当



会社情報

会社概要 (2011年3月31日現在)

社名 生化学工業株式会社
創立 1947年(昭和22年)6月2日
資本金 38億4,040万円
従業員数 649名(連結ベース)
事業内容 複合糖質を中心とした医療用医薬品、
医療機器等の製造および販売

所在地

本社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目6-1
丸の内センタービルディング10F
TEL: 03-5220-8950

中央研究所

〒207-0021
東京都東大和市立野三丁目1253
TEL: 042-563-5811

高萩工場

〒318-0001
茨城県高萩市大字赤浜字松久保258-5
TEL: 0293-23-1181

久里浜工場

〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜七丁目3-1
TEL: 046-835-3311

役員 (2011年6月21日現在)

代表取締役社長	水谷 建	常勤監査役	金子 健志
代表取締役専務取締役	矢倉 俊紀	常勤監査役	三富 得司
常務取締役	宮本 政臣	社外監査役	竹内 信博
社外取締役	片山 英二	社外監査役	佐藤 順哉
取締役常務執行役員	川村 秀樹	社外監査役	山田 明文
取締役常務執行役員	大西 和明		
取締役	福本 安志		
取締役	石川 慎一		

各事業所

中央研究所

創薬研究の要として、先進設備を揃え、充実した環境のもと、研究者の創造性を重視した運営を行っています。



高萩工場

アルツ、オペガンの製造を担っており、生産能力増強を目的に第5製剤棟を新設する計画に着手しました。



久里浜工場

医薬品原体(ヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸)などを製造しています。



グループ会社

生化学バイオビジネス株式会社

医薬品原体の販売、試薬・診断薬の製造・販売を主な事業とし、機動的かつ効率的な営業活動を展開しています。

ASSOCIATES OF CAPE COD, INC. (アソシエーツ オブ ケープ コッド インク)

エンドトキシン測定用試薬の開発を世界で初めて成功させ、米国食品医薬品局(FDA)から承認を取得した試薬専門メーカーです。米国マサチューセッツ州ファルマスに本社をおいています。



アソシエーツ オブ ケープ コッド インク 本社

株式の状況

株式数および株主数 (2011年3月31日現在)

発行可能株式総数	234,000,000株
発行済株式の総数	58,584,093株
株主数	14,508名

大株主の状況 (2011年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1 新業株式会社	7,843	13.8
2 株式会社開生社	7,293	12.8
3 ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	4,428	7.8
4 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱化学株式会社退職給付信託口)	3,105	5.5
5 資産管理サービス信託銀行株式会社 (みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口)	1,973	3.5
6 株式会社三菱東京UFJ銀行	1,536	2.7
7 有限会社ソウメイ	1,248	2.2
8 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,175	2.1
9 科研製薬株式会社	807	1.4
10 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	753	1.3

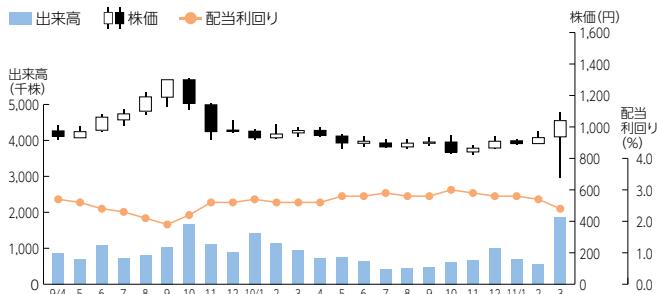
※持株比率は自己株式(1,776千株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況 (2011年3月31日現在)



※その他の国内法人には証券保管振替機構名義株式(4千株)が含まれています。

株価および出来高推移



株主メモ

● 事業年度

4月1日～翌年3月31日

● 定時株主総会

6月

● 配当金受領株主確定日

3月31日(なお、中間配当を行う場合の確定日は9月30日)

● 基準日

定時株主総会については、3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ
公告する一定の日

● 株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社

● 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10-11

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

● 公告方法

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.seikagaku.co.jp/ir/kk.html>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に公告します。

● その他

《株式事務に関するお問い合わせ》

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

ホームページアドレス

<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

《住所変更等のお手続》

株主さまのお取引の証券会社

ただし、特別口座に登録された株式に関する
お手続は左記特別口座の口座管理機関(三菱
UFJ信託銀行)で受け付けます。

《未払配当金受領のお手続》

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

ひざイキイキ掲示板

Web
サイト **ひざイキイキ** 

変形性ひざ関節症に関する情報を幅広く紹介しています！ぜひ、ご覧ください。

ひざイキイキ

検索

<http://www.ehiza.jp/>



メールマガジン
配信中



登録してね!!

そのひざの痛みは？

ひざの痛みでお悩みの方は日本に約3,000万人[※]いるといわれています。激しいスポーツをしたわけでもないのに日常生活でしばしば痛みを感じる、なかなか治らず毎日のように痛みを感じる、そんなひざの痛みは関節の病気が原因で起こっている可能性があります。あなたの「ひざの痛み」についてチェックしてみましょう。1つでも当てはまるものがあれば、「変形性ひざ関節症」の可能性がります。まずは「変形性ひざ関節症」についてよく知り、早めに医師による診察を受けることをおすすめします。

※厚生労働省「介護予防の推進に向けた運動器疾患対策に関する検討会」平成20年報告書

ひざの痛み簡易CHECK

- 歩き始めるとき、ひざに痛みがある
- 階段の上り下りのとき、ひざに痛みがある
- 立ち上がる時、ひざに痛みがある
- 正座がしづらい
- ひざに水がたまって腫れる
- 朝起きたとき、ひざがこわばる
- ひざの内側を押すと痛みがある

くわしくは
Webサイト
「ひざイキイキ」
を見てね！



生化学工業株式会社

<http://www.seikagaku.co.jp/>



本冊子は、「Non-VOC」の大豆油を主体とした植物油系インキを使い、「水なし印刷」で印刷しています。